



WEEKLY REPORT

高山中央ロータリークラブ

2024～2025 年度 高山中央 RC 会長テーマ

美しい調和 「beautiful harmony」



◆会長 堀口 裕之 ◆幹事 高橋 厚生 ◆会報委員長 中屋 出 ◆会報担当 渡辺 修治

創立 1991 年 5 月 20 日

<出席報告>

◇事務局 高山市本町1-2

飛騨信用組合本町サテライト出張所 3階

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30~

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

	会員数	出席会員	出席数	Make-up	出席率
本日 1371 回	53 名	53 名	40 名	---	75.47%
前々回 1369 回	53 名	53 名	43 名	1 名	83.02%

●点 鐘

●ロータリーソング

それこそロータリー

●ゲストおよびビジターの紹介

●会長の時間

会長 堀口 裕之

本日は青少年奉仕/インターアクト委員会担当例会で 10/2 の中山中学校「出前講座」に向けて例会をします。小出委員長どうぞよろしくお願いたします。

今でこそ「高山市キャリア教育を考える会」主催の出前講座ですが、古くは高山中央ロータリークラブの単独事業であったと記憶しております。当時ご苦勞されたであろう永家前会長は退会されておりますので当時をよく知る刃田さんや下田さんから出前講座が始まった経緯などもお聞かせ願えると嬉しいです。

出前講座を始めたころはよく「夢」というフレーズが使われておりました。「夢を語り合う」をテーマに出前講座参加募集の案内を頂いたことを覚えています。先日 9/5(木)に荘川中学校にて行われた「出前講座」では住さん・井ノ下さんの職業講話を興味深くキラキラした眼でニコニコ聞いている中学生のすがたを見て、「奉仕にきてよかったなあ」とつくづく思いました。

今年で 15 年目となる「出前講座」ですが、これからも青少年育成のために続けていきたいと思えます。どうぞよろしくお願いたします。



●幹事報告

幹事代理 熊崎 元康

◎ガバナー事務所より

・第 16 回ロータリー韓日親善会議のご案内

日時：10 月 24 日（木）～25 日（金）

会場：K ホテル良才（韓国ソウル）



○国際ソロプチミスト高山より

・新事務所のご案内

高山市花里町 1-117 会長 高桑 眞佐子

●青少年奉仕/IA 委員会

委員長 小出 貴博

本日の例会は、10 月 2 日に行われます中山中学校での「出前講座」に向けてのものです。学校より SDGs について話して欲しいと言われておりますので、刃田さんに SDGs について、下田さんに出前講座について話して頂きます。



●「SDGs とは」

皆様、こんにちは、今回 SDGs を解りやすく解説してほしいとのことでしたので、高橋商店の社長に作ってもらったパワーポイントを使ってお話しします。

以下は、きずなネットよみもの Web 編集部で作成文です。

(パワーポイントの内容とほぼ同一です)

「SDGs とは、2015 年 9 月の国連サミットで決まった国際目標です。

刃田 廣喜



【S】 Sustainable : 持続可能な

【D】 Development : 開発

【G】 Goals 【s】 : 目標

「持続可能な開発目標」、これからもずっと続いていく、よりよい世界をつくるための目標が設定されています。

世界では、貧困、紛争、テロ、気候変動、資源の枯渇など…さまざまな問題が取り上げられてきました。世界経済の発展で、大量生産、大量消費、大量廃棄がおこなわれ、地球の持続可能性が危ぶまれています。

これから先、世界中の人々が安心安全に暮らしていけるように、2030 年をゴールとして SDGs の 17 目標が掲げられています。

キーワードは「誰ひとり取り残さない」ということ。国際機関、政府、企業、学術機関、市民社会、子どもも含めたすべての人が、それぞれの立場からこの目標を達成するために行動することが求められています。

SDGs の具体的な 17 個のゴールは以下です。

SDGs の 17 個のゴール

- ・ 貧困をなくそう あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせよう
- ・ 飢餓をゼロに 飢餓を終わらせ、全ての人々が一年を通して栄養のある十分な食料を確保できるようにし、持続可能な農業を促進しよう
- ・ すべての人に健康と福祉を あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進しよう
- ・ 質の高い教育をみんなに 全ての人々が受けられる公正で質の高い教育の完全普及を達成し、生涯にわたって学習できる機会を増やそう
- ・ ジェンダー平等を実現しよう 男女平等を達成し、全ての女性及び女兒の能力の可能性を伸ばそう
- ・ 安全な水とトイレを世界中に 全ての人々が安全な水とトイレを利用できるよう衛生環境を改善し、ずっと管理していけるようにしよう
- ・ エネルギーをみんなにそしてクリーンに 全ての人々が、安くて安定した持続可能な近代的エネルギーを利用できるようにしよう
- ・ 働きがいも経済成長も 誰も取り残さないで持続可能な経済成長を促進し、全ての人々が生産的で働きがいのある人間らしい仕事に就くことができるようにしよう
- ・ 産業と技術革新の基盤をつくろう 災害に強いインフラを作り、持続可能な形で産業を発展させイノベーションを推進していこう
- ・ 人や国の不平等をなくそう 国内及び国家間の不平等を見直そう
- ・ 住み続けられるまちづくりを 安全で災害に強く、持続可能な都市及び居住環境を実現し

よう

- ・ つくる責任 つかう責任 持続可能な方法で生産し、消費する取り組みを進めていこう
- ・ 気候変動に具体的な対策を 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じよう

よう

- ・ 海の豊かさを守ろう 持続可能な開発のために海洋資源を保全し、持続可能な形で利用しよう

よう

- ・ 陸の豊かさを守ろう 陸上の生態系や森林の保護・回復と持続可能な利用を推進し、砂漠

化と土地の劣化に対処し、生物多様性の損失を阻止しよう

- ・ 平和と公正をすべての人に 持続可能な開発のための平和的で誰も置き去りにしない社

会を促進し、全ての人々が法や制度で守られる社会を構築しよう

- ・ パートナリシップで目標を達成しよう 目標の達成のために必要な手段を強化し、持続可

能な開発にむけて世界のみんなで協力しよう

出典：[＜私たちがつくる持続可能な世界＞外務省・日本ユニセフ協会作成](#)

みんなが取り組む SDGs とは？

電気や水道の無駄遣いをなくす

7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに

13. 気候変動に具体的な対策を

家庭で、簡単に取り組める SDGs の代表は節電や節水です。

電気をつけっぱなしにしない、水道を出しっぱなしにしない、エアコンの設定温度を見直すなど。ちょっと「意識」するだけでも変わってきます。新たに購入するなら、節電タイプの家電製品を。節電や節水グッズも出回っているので、上手く取り入れていけるとよいですね。

ゴミを出さないようにする

12. つくる責任 つかう責任

13. 気候変動に具体的な対策を

14. 海の豊かさを守ろう

15. 陸の豊かさを守ろう

ゴミを減らす、出さないようにすることも、取り組みやすい SDGs です。

日本国内で 1 年間に家庭から排出されるゴミの量は 4,274 万トン（東京ドーム約 115 杯分/令和元年・環境庁調べ）。ゴミを燃やす際に発生する二酸化炭素は地球の温暖化につながります。

分別して捨てて、リサイクルできるものはリサイクルにまわす。簡易包装のものを選んでゴミを出さないようにすることも、日頃から取り組める SDGs の取り組みですね。

食品や日用品を使い切る

12. つくる責任 つかう責任
13. 気候変動に具体的な対策を
14. 海の豊かさを守ろう
15. 陸の豊かさを守ろう

お店に並んだ食料品も、古くなったものは廃棄されてしまいます。最近では、賞味期限の近い物を買うことをSDGsとして推奨するお店も見かけるようになりました。

必要以上に買いだめすると、使い切る前に賞味期限が切れて、結果として捨ててしまうことも。使い切れる量を考えて購入し、忘れずに使い切ること。使い切れない肉や魚、野菜は冷凍庫を上手に活用するのも方法の1つです。

また、日用品のストックは、保管期間が長くなると劣化してしまうことも。在庫量が把握できなくなり「まだあるのに買ってしまった…」ということにもなりかねません。

必要な分を、必要な時に購入し、ストックは必要最低限にすることをおすすめします。

マイバッグやマイボトルを持ち歩く

12. つくる責任 つかう責任
13. 気候変動に具体的な対策を
14. 海の豊かさを守ろう
15. 陸の豊かさを守ろう

ここ数年で、買い物袋の有料化やプラスチックストローの廃止なども進んできました。マイバッグやマイボトルの持参については、普段から取り入れている人も多いのではないでしょうか。

スーパーの袋やプラカップなど、プラスチックごみを減らすことは、海洋汚染を防ぐだけでなく地球温暖化や生態系破壊などの問題に対する取り組みにもつながります。

詰め替えの商品を選ぶ

12. つくる責任 つかう責任
13. 気候変動に具体的な対策を
14. 海の豊かさを守ろう
15. 陸の豊かさを守ろう

石けんや洗剤、シャンプー、化粧品など、最近では詰め替え商品も多数見かけるようになってきました。詰め替えを選べば、プラスチックゴミを減らすことができます。

詰め替え商品は、割安に販売されていることも多いため、節約にもなりますね。

地産地消を心掛ける

12. つくる責任 つかう責任
13. 気候変動に具体的な対策を

地域で生産されたものを選ぶ地産地消も、SDGsの取り組みに。輸送にかかるエネルギーの削減や労働環境の改善などにも役立ちます。

おもちゃや服などをリサイクルする・寄付する

1. 貧困をなくそう
4. 質の高い教育をみんなに
12. つくる責任 つかう責任

おもちゃや本、服は、捨てるゴミになりますが、必要な人に寄付する・リサイクルすることで資源の有効活用につながります。

車を使った移動を減らす

3. すべての人に健康と福祉を
 7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- 公共交通機関や、徒歩、自転車で行ける範囲の移動は、できるだけ車を使わないようにすることもSDGsの1つの取り組みといえます。車に乗る機会を減らせば、地球温暖化の防止など環境保全にも貢献できるでしょう。自分たちの健康のためにもなりますよね。

マイカーの使用回数が少ないようであれば、思い切って手放して、必要な時だけカーシェアやレンタカーを使うのもおすすめ。大きな固定費を減らせるので節約効果も期待できます。

住む街を大切に作る

11. 住み続けられるまちづくりを
- 地域の繋がりを大切にする、自分が暮らす街を大切にすることもSDGsの取り組みになります。災害に強い、また、災害にあっても早く復旧するまちをつくることも、持続可能なまちづくり。個人で取り組めることとして、防災対策をおこなうこともおすすめです。

お互いの違いを認め、尊重する、協力する

5. ジェンダー平等を実現しよう
 10. 人や国の不平等をなくそう
 16. 平和と公正をすべての人に
- SDGsには、ジェンダー平等を実現する、人や国の不平等をなくすというゴールも掲げられています。障がいのある人と交流を持つ、ボランティアに参加するなどはもちろんのこと。パートナーとの家事負担を見直す、相手の意見を尊重するなど、身近な人との向き合い方を変えることもSDGsの取り組みになります。親子で一緒に考えることができれば、よい学びになりそうですね。

まとめ

最近ではSDGsを掲げる企業が増えてきましたが、個人でも取り組めることはたくさんあります。SDGsは特別なことでなく、私たちの身近にあるものばかりです。

子どもに伝えていくときも、「ゴミを減らそうね」「残さず食べようね」など、声かけしながら実践で

きるとよいですね。
ぜひ、できることから始めてみてください。
終わりに、国連とロータリーとの深いかかわりについて、紹介します。
国際ロータリーと国際連合との関係は、1945 年、49 名のロータリアンが、米国カリフォルニア州サンフランシスコにおける国連憲章会議の 29 の代表派遣団の団員となった時にまで溯ります。国連の最初の 10 年間、ロータリーは、主要会議に監視団を派遣し、ロータリーの出版物で国連を推進するなどして、活発に国連に関与しました。

1945 年および 1946 年にそれぞれ国連経済社会理事会 (ECOSOC) および国連教育科学文化機関 (ユネスコ) が設立されて以来、ロータリーはこれらの団体との関係を維持してきました。最近、この関係は、ロータリーの代表ネットワークを通じて広がっています。

国際ロータリーは、多くの専門的な国連外郭団体を監視している国連経済社会理事会に対し、非政府団体 (NGO) としては最も高い顧問的地位を保持しています。ロータリーはまた、国連 NGO 会議 (CONGO) でもリーダー的立場で参加しています。以上です。



●「出前講座について」

下田 徳彦

出前講座についてお話しさせていただきます。

SDGs は今から 10 年くらい前にできた新しい言葉です。出前講座を語るのに「キャリア教育」という言葉がありますが、この言葉は 25 年ほど前 (平成 11 年) にできました。



新しい言葉ができた時に、それを実行し社会に浸透するまでには時間がかかります。当地区のロータリークラブが出前講座に取り組んできた元を辿ると、三重県の鈴鹿ベイロータリークラブがキャリア教育という言葉ができた頃 (平成 14 年) から「おじさん先生」として学校へ出向いて行ったのが始まりになります。当時鈴鹿市に水井教育長というとても教育に熱心な方がおみえになり、ロータリーとの協力体制により当事業を先導されました。当時の水井教育長の話聞いて高山でもやっという話になり、清水会長の時 (平成 22 年) に当時の永家社会奉仕委員長の元で実施したのが高山での出前講座を始めるきっかけになります。

当時はキャリア教育って何? という感じでまだ社会に浸透していない時、今日の卓話の SDGs と同じように、企業が何をやったら良いかわからない様に、学校側もキャリア教育を進める上で、何か良いプログラムが無いか探していたこともありました。そんな時に校長会で出前講座を提案したところ、興味を持っていただいた国府中学校で開催したのが最初になります。

始めは当クラブ単独事業として小さな中学校 1 校 2 校から始まった出前講座ですが、継続事業と発展していく手応えを感じました。今後ニーズが広がっていく事が予想される中でマンモス校にどう対応したらよいか? という課題もありました。既に鈴鹿市ではロータリーと市の協働連携が出来ていたこともあり、鈴鹿市の成功事例に習い、高山市の教育委員会に話を持ち掛けて、当クラブが推進役となり「キャリア教育を考える会」の立ち上げに尽力し、他のロータリーをはじめ、ライオンズクラブや JC、YEG などにも声掛けして、各団体の協働連携でマンモス校や多くの学校にも対応していく組織体制ができました。その流れが継続して今に至っており、今日では高山市のキャリア教育の一環として定着しています。

出前講座の必要性についてですが、ロータリーの理念でもある「職業奉仕」と関係があり、自分の職業を通して社会に奉仕できる「形ある事業」でもあります。自分の会社の事を自分の言葉で語っていただくだけで生徒は多くの会社があることや仕事

について知ることができます。先月の MAP04 実行委員が市内高校生にとってアンケートにあるように、「高山市内の知っている企業名は何社？」の質問に「1～2社」という回答が過半数を示すように、親の会社以外に1社ほどしか知らないのが現実です。年々出生者数が減少し続け、地元企業の事を知らないまま進学で多くの高校生がよそに出ていき人口の減少が益々加速する中で、この問題はとても大きな問題です。出前講座では会社の事を知ってもらい良い機会にもなり、50人以上の会員がそれぞれ違う職種ということもあるので授業の幅も広がり、出前講座は地域の大人から学ぶキャリア教育として大きな役割を果たしています。

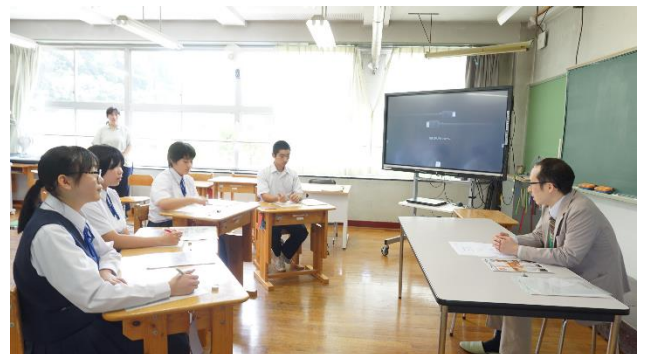
学校からの評価も高く、先生では教えられない生徒の学びがあるとの事です。子供の教育には学校教育と家庭教育、そして社会教育がありますが、この社会教育として出前講座が大きな役割を担っています。

今度10月に小出委員長の計画の元、出前講座が開催されます。多くの参加者のご協力をお願いいたします。

日 時：2024年9月5日（木）10：35～12：15

学校名：高山市立荘川中学校 2年生5名

会員参加者：5名



<ニコニコ BOX>

本日は、青少年奉仕／IA委員会の担当例会です。剣田PG、下田さんには卓話をよろしくお願ひします。今からでも「でまえ講座」講師参加できますので、本日の卓話を聞いて行きたくなった方は是非参加して下さい。 小出 貴博

先週は誕生日のお祝いをありがとうございました。 三枝 祥一

先日、孫に会いに行行って来ました。5ヶ月位なのですが人見知りをするようになったみたいで、僕の顔を見ては泣く感じでした。そんなに怖い顔ではないと思いますが、もっと笑顔で過ごせるようにしたいと思いました。 高原 龍士

大谷翔平 46号おめでとうございます。個人的には特にめでたい事がないのでこれにてニコニコBOXに入れさせていただきます。 田中 由泰

ゴルフを始めます。 水口 邦博